

公表すべきシラバスに係る様式例

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供の基本的な考え方
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	サービス提供の基本的な考え方として、利用者主体の視点、自立支援の視点、エンパワメントの視点、ICFの視点、現実的な支援計画に基づくサービス提供、連携の必要性等について理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 60分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

公表すべきシラバスに係る様式例

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供のプロセス
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90 分
○	7 到達目標	サービス提供のプロセスに関する講義により、PDCA4 サイクルによるサービス内容を確認することの重要性とその方法、個別支援計画の意義を理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 90 分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

公表すべきシラバスに係る様式例

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス等利用計画と個別支援計画の関係
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	吉田 志信
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90 分
○	7 到達目標	サービス等利用計画における総合的な援助奉仕を導き出すプロセスを理解する。また、サービス等利用計画等が生活全般の範囲に及び、個別支援計画が生活全体をイメージしつつ、事業所内にサービスに重点を置いた計画であることを理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 90 分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

公表すべきシラバスに係る様式例

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供事業所の利用者主体のアセスメント
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	三瓶 章史、山下 庄二、富田 政義、川田 純、金澤 俊文
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	150分
○	7 到達目標	サービス提供における利用者を主体としたアセスメントの考え方やその手法について講義により理解する。また、障害種別や障害福祉サービスなど各分野における異なる視点について理解する。
○	8 教科の概要	各分野担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 150分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

公表すべきシラバスに係る様式例

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援計画作成のポイントと作成手順
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	安藤 寛将
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	個別支援計画作成におけるポイントと手順についての事例等を活用した講義を行い、作成の視点がリスクマネジメントのみに陥らないように、エンパワメントの視点やストレングスの活用について理解するとともに、作成の手順を理解する。
○	8 教科の概要	各分野担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 60分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

公表すべきシラバスに係る様式例

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援計画の作成
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	270 分
○	7 到達目標	モデル事例を活用したグループワークにより、サービス等利用計画に示される総合的な援助方針等を踏まえて、個別支援計画の支援内容、担当者、連携に頻度等について検討する。それに基づき、支援目標、支援内容を設定し、個別支援計画を作成する。
○	8 教科の概要	モデル事例に基づいてグループワークを活用し、個別支援計画を作成していく。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習 270 分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

公表すべきシラバスに係る様式例

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）及び記録方法
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	180分
○	7 到達目標	モデル事例を活用してグループワークにより、事業所において提供している支援のモニタリングについて、サービス等利用計画等との連動を念頭に入れながら、視点・目的・手法等を理解する。
○	8 教科の概要	モデル事例に基づいてグループワークを活用し、モニタリングについてその視点・目的・手法を理解する。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習 180分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	